

# 特集 お役に立ちます!! 県立図書館活用法

宮崎県立図書館では県民の皆様の役に立つ図書館を目指し、従来からの県立図書館としての基本的なサービス提供はもちろん、様々な新しい取り組みも始めています。今回の特集では様々な場面での県立図書館の使い方を紹介します。ぜひ、ご活用下さい。

## あの本が見たい、〇年〇月号の雑誌が見たい。

県立図書館には現在約62万点の図書資料や500種類の雑誌等があります。お探しの本や雑誌があるか気軽にお尋ねください。ご自分で直接調べる場合は、直接来館して利用者用検索端末を利用するか、本館のホームページ(<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>)の「蔵書検索」から検索することができます。また、お住まいの近くの図書館からも調べることができます。

探している本や雑誌を本館が所蔵している場合は貸出が可能です。直接の来館ができなくても、お近くの市町村図書館を通じて借りる方法もあります。(詳しくは、本館もしくは近くの図書館にお問い合わせください。)

探している本や雑誌を本館で所蔵していない場合でもあきらめないでください。県立図書館は県内の図書館とはもちろん全国的な図書館ネットワークを持っており、他の図書館が所蔵していれば本館がそこから借りて、あなたに提供することができます。(資料によっては貸出はできず、館内の閲覧だけに制限される場合もあります。)

## 〇〇について調べたい。問題や課題を解決したい。

ご自分で取り組む場合、県立図書館の62万点に及ぶ資料やインターネット環境を無料で利用できます。

どうすれば良いか分からない場合やアドバイスがほしい場合は、ご遠慮なく参考相談係の図書館職員にお尋ねください。職員が調査や課題解決に関する資料やデータを提供したり、課題解決を支援する機関のご紹介等をいたします。ケースによっては資料等ではなく解答が提供できることもあります。(法律の適用や医療の診断に関すること、クイズの解答などは除きます。)

相談内容はどんな分野でもかまいません。どんなことでも遠慮はいりません。

直接来館での利用はもとより、電話やメールで問い合わせることもできます。

## あなたも図書館の達人に!! (図書館利用講座)

利用者の多くの皆さんに県立図書館の利用方法や機能を知っていただき、図書館を上手に活用して、自分で求める情報を自由に探すことができるよう、県立図書館利用講座を行っており、たいへん好評をいただいております。

実施日等を本館のカウンターや電話で確認のうえ、ぜひご活用ください。

図書館の歩き方初級講座	図書館休館日ツアー	書庫探検
<p>図書館の本の並びはどうなっているの?本はどうやって探す?など、あなたの疑問に応えます。</p> <p>この講座を受講されれば、</p> <p><b>あなたは3分で自分の探している本と出会えます!</b></p> <p><b>【内容】</b> 利用者用検索機器の操作方法 本の配架法 本の探し方 図書資料請求・予約票の見方など</p>	<p>図書館の休館日を覗いてみませんか?「月曜日は図書館員もお休みでしょ」とよく言われます。いいえ、職員は出勤して、一所懸命仕事をしています。</p> <p>この休館日に行う業務が、利用者の皆さんに適切な図書館サービスを提供するために、とても大切なのです。</p> <p>普段は見ることのできない書庫や移動図書館車「やまびこ」等もご案内いたします。</p> <p><b>【内容】</b> 県立図書館概要説明 本の並び方 配列作業見学 書庫見学 質問タイム など</p>	<p>県立図書館には62万冊の本があります。利用者の皆さんが手にとって本を選べる閲覧室(児童図書室を含む)に16万冊、書庫に46万冊の所蔵があります。</p> <p>この探検では、利用者の方が直接、<b>普段見ることのできない書庫での選書や貸出もできます。</b>月曜日に仕事がお休みの方には、最適な探検です。</p> <p><b>【内容】</b> 県立図書館概要説明 書庫見学 本の選書 月曜休館日作業の見学など</p>

10月13日(白)、私の10年来の望みがかなった。県立図書館の書庫の見学ができたのだ。いつも、どんな古い本を頼んでも出てくる。これはないかもねと思って待っていたら(PC検索などない時代)出てくる。「まあ、これはなくても怒らないうえ」という本もある。こんな見学でも怒らないうえとくれた館員はハアハア言っているときもある。

書庫とは一体全体どういふところなのか、自分で取りに行きましようかとも言えず、小学生たちは見学できるところは断られるのか、納得できぬまま、永遠の憧れだった。一緒に見学したメンバーに抱かれたら恥ずかしいなと思いつつ足は緊張で震えていたはず。


実際に入った書庫はやはりカウンターの裏にあり、実に事務的な空間で、本だけでなく、何年分もの雑誌、新聞(業界もの、英字もの、近隣の県のものも)、学会誌など、ありとあらゆる活字が載っているもの全部あるでしょ?というくらいボリュームがあった。

胸を張って「処分するわけにはいきませんので」という館員の方のお話を伺いながら、図書館の担い手としての使命感に感動した。

見学前に見せて頂いた図書館100年の歩み、中村地平館長時代の映像も興味深く、閲覧室の見学もとても楽しかった。

適正配架をめざしての工夫と努力、例本せりへりを感じ、誠実であるうとする図書館の姿を見ることができたと思う。

最後に、おかげさまで、この企画、大拍手を送りたい。



県立図書館休館日ツアーに参加して